2023.04 ~ 2024.03

うみのこてらす
年次報告書

一般社団法人
うみのこてらす
uminoco terrace

目次 Contents

チーム・代表挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・01

ABOUT US（ビジョン・徳島がわかる）・・・・02

ロゴにこめた想い

issues（取り組む社会課題）・・・・・・・・・・・・03

issues（3つのアプローチ）

小規模多機能型の居場所 ・・・・・・・・・・・・・・・04

事業概要

（てらす食堂、フリースペースわれもこう、ゆあぷれ）・・・・05,06

団体の歩みとこれから ・・・・・・・・・・・・・・・・・07

2023年度のトピックス ・・・・・・・・・・・・・・・・08

各機関とのネットワーク作り ・・・・・・・・・・・・09

こどもたちの嬉しいエピソード ・・・・・・・・・・10

関わる地域サポーターたちのコメント ・・・・・11

その他メディア掲載等 ・・・・・・・・・・・・・・・・12

サポーターズ（寄付・協賛企業）

活動計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

寄付・お問い合わせなど

Uminokoterasu Annual reports

Uminokoterasu

チーム・代表挨拶



代表　川邊 笑

日頃よりたくさんの応援をいただき、誠にありがとうございます。

思えば、学生時代に公民館を間借りして動き始めたうみのこてらすの活動も、3年の月日が経ちました。昨年度の10月には任意団体から法人となり、今後も団体として継続していく覚悟を決める１年となりました。

ここまでくることができたのも、本当に多くの方の支えがあってのことだと改めて感じております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。今回の年次報告書では、こどもたちや事業の変化を、日頃の感謝の気持ちもこめて書かせていただきました。

まだまだ駆け出しの団体ではありますが、今後も引き続き、こどもたちの未来を守る「仲間」として、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

団体理事



山下理事



大西理事



中村理事

活動をともに支える**地域サポーター**の方たちも沢山います。









ABOUT US
わたしたちについて

団体理念

声なきこえを聴き、
ともに今を・明日を・未来をてらす

VISION
すべてのこども・若者が大切にされて、
自分らしく人生を描き歩める社会を
地方の町まで実現していく



2020年夏、徳島出身大学生の思いが様々な方の支えによって実現してスタート！
多くの支えの中、こども・若者の**居場所**を核とした活動に取り組んでいます。

こどもは、みんなの**宝**であり、**未来**です。

どこに生まれても、どんな環境で育っても、
あたたかなつながりの中で、
安心して育ち・学び・自分らしく人生を歩める社会を
ここ**徳島から**、つくろうとしています。

ロゴにこめた思い

一般社団法人
うみのこてらす
uminoco terrace

海から出てくる太陽がモチーフのロゴ。
よく見ると、キャラクターの目は
ひとを表し、真ん中の線が繋いでいく。
わたしたちうみのこてらすは、
ひととひととを繋ぎ、
日本中のこどもたち（うみのこ）の
今を・明日を・未来を
てらしていきたいと願いをこめました。

取り組む社会課題

Issues

"生まれ育つ環境や地域における機会の格差"

教育格差

～こどもを取り巻く環境～



日本のこどものうち、9人に1人が相対的貧困。

日本の不登校のこどもたちは **29万人**

地域間格差

～支援の地域差～

地方では、
こどもたちを支える仕組みが**まだ整っていません。**

人口2万人未満の地域では、
NPO団体や**フリースクール**や**学習支援塾**などの
支援施設が**少ない**のが現状です。



貧困、発達障害、いじめ、不登校、親との関係性など、自分ではどうしようもない理由の中で、
学ぶ環境や繋がる機会を失い、努力しづらい環境に置かれているこどもたちがいます。
そうしたこども・若者たちが抱える**「生きづらさ」**は、社会で向き合うべき**課題**です。

3つのアプローチ

Approach

"地方のこども支援のインフラをつくる"

01 #しんどくなりにくいまちづくり

地域の繋がりの中で、こどもや家庭が常に孤立しないまちづくりを行います。

・繋がり事業　p.05
・ネットワークづくり　p.09

02 #一人ひとりに寄り添う

訪問支援から居場所支援・学び支援、そして最後は社会参画まで連続してサポート。

・ホームフレンド事業　p.05
・居場所事業　p.06

03 (coming soon) #仕組みを広げる

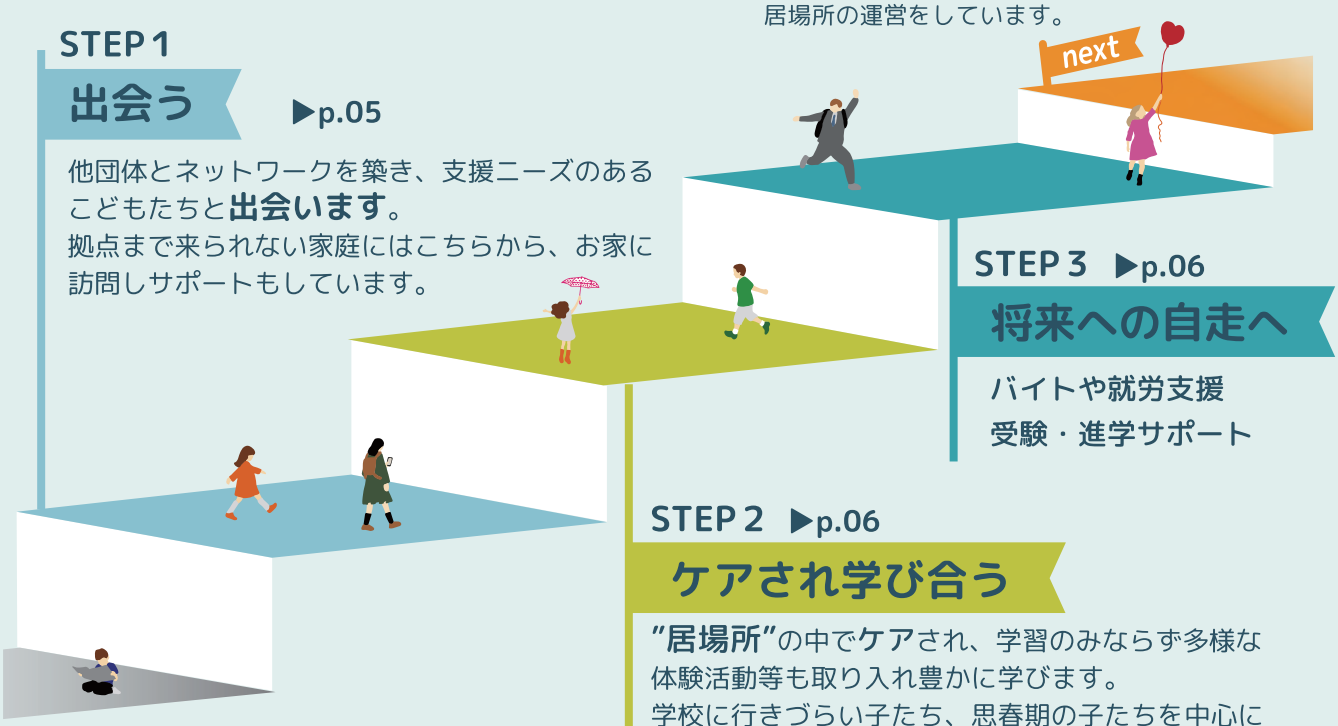
プログラムの質の向上に取り組み、各地域団体等と連携しながら、他の地域にもノウハウ展開ができるように目指しています。

小規模多機能型の居場所

休日：誰もが来られる、しんどくなるのを事前に予防できる居場所。
平日：学校にいけなくてもしっかりサポートできるような居場所。

それに加えて、なかなかそうした居場所にも繋がれないお子さんには、
お家に伺い、学びを届けます。

また、**「義務教育終了まで」**ではなく、
高校生になっても、切れ目なく来続けられる**拠点**にし、社会参画まで伴走できるようにしています。
多くの人数のこどもたちがくるわけではありません。
でも、その子ひとりひとりに応じたサポートを
受けられる、そんな**「多機能型」「小規模」**の
居場所の運営をしています。



STEP 1
出会う ▶p.05

他団体とネットワークを築き、支援ニーズのあるこどもたちと**出会います。**
拠点まで来られない家庭にはこちらから、お家に訪問しサポートもしています。

STEP 2 ▶p.06
ケアされ学び合う

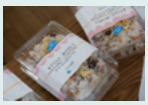
"居場所"の中で**ケア**され、学習のみならず多様な体験活動等も取り入れ豊かに学びます。
学校に行きづらい子たち、思春期の子たちを中心に居場所づくりを行っています。

STEP 3 ▶p.06
将来への自走へ

バイトや就労支援
受験・進学サポート

事業概要

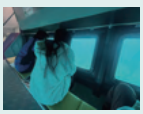
繋がり事業



『てらす食堂』

月1回、こどもや若者、子育てママパパ、
おとなまでみんなが繋がる交流の場。

ホームフレンド事業



不登校や引きこもり傾向の
こどもたちへの訪問型学び支援。

居場所事業



『フリースペース　ゆあぷれ』

毎週日曜日。
中高生を中心に、誰もが気軽に
立ち寄れる居場所。



『フリースペース　われもこう』

毎週水・木曜日。
学校に行きづらい小学生～高校生までの
居場所。

01 出会う

各教育・相談機関との連携体制

月１回の報告ならびに必要に応じて連携が取れる体制での実施。出席扱いにもなる学校が多い。（15校が現在認定）
行政や相談機関などと顔の見える関係性を築き、必要に応じて連携できるようにしている。

学校との連携数：15校







保護者相談

保護者の方の希望に応じて相談を実施しています。こどもだけではなく家庭も含めてサポートできるようにしています。

ホームフレンド事業

距離の問題・引きこもり傾向などで拠点に出てこられない家庭へは、こちらが食料配布や家庭訪問をし、本人に合わせた内容でサポートしています。

2023年度：4家庭実施

成果：なかなか最初は会うことが出来ないこどもたちもいます。隔週で毎回少しずつ声をかけていく中で、これまでなかなか人と出会えなかったこどもと出会い、勉強したり、近くの商業施設に一緒にいったりできるようになりました。

てらす食堂





みんなでごはん　てらす食堂

～こどもや若者、子育てママパパ、

おとなまでみんながつながる居場所～

「みんなでおいしく楽しく！」を合言葉に、
ほっと一息つける交流、やってみたいを叶える、人が輪になるそんな食堂を目指し、開催しています。
毎回、地域のたくさんの方のボランティアや食材の提供に支えられています。
中高生ボランティアの参加や帰省の際の再会、新たに町に来てくれた方が知り合いをつくるなど、様々な機会となっています。





2023年の活動

開 催 日：毎月第一月曜日開催
（2023年6月開始）

場　　所：牟岐町海の総合文化センター・浜の家

協　　力：牟岐町社会福祉協議会

利用人数：657人（1回あたり75人ほど）

※徳島県福祉基金様の助成金をもとに実施いたしました。

02 ケアされ学び合う





フリースペース　われもこう

開所時間：毎週水・木曜日 10:00-15:30

活動実績：令和5年度登録利用延べ人数31人

開所場所：旧牟岐小学校

学校に活きづらい小学生～高校生までの居場所。
「ここにもあるよ、あなたの居場所」を合言葉に、様々な背景、年代のこどもたちが共に過ごす安心をベースとした居場所です。

毎回、はじめのミーティングで予定を決めて、異年齢集団の中で折り合いをつけながら活動をしています。学習だけでなく、多様な活動を実施しています。学校や関係機関と密に連携をとり、こどもたちの様々な機会の充実を図ります。









フリースペース　ゆあぷれ

開所時間：日曜日 13:30-16:00

活動実績：令和5年度登録利用延べ人数263人

開所場所：旧牟岐小学校

中高生を中心とした誰もが来られる日曜日の居場所。
誰もが気軽に立ち寄れる**“町のおばあちゃんの家”**のような居場所です。

思い思いに過ごしながら、何かやってみたいことに挑戦したり、多様な人と繋がれたりする、そんな場所です。自習室で勉強したり、キッチンでご飯を一緒に作って食べたりすることもあります。長期休みになったら、ななめの関係の大学生も遊びに来てくれることもあり、こどもたちにとって、豊かな出会いになればと思って活動しています。

03 将来への自走へ

バイトや就労支援

高校生の世代にはバイトや就職活動のサポートも行っています。昨年は、高校生の1人が、パソコンを使い打ち込みや情報整理などの高校生インターンに挑戦しました。

会社訪問やハローワーク同行も行うこともありました。





受験・進学サポート

昨年は2人の高校受験生がいました。

苦手だった学習のサポート、先輩の話を聞く、情報収集などのサポートを行いました。無事に希望する進路に進みました。

高校の同級生2人と始めた活動も、いつしか輪が広がり、退職した先生、心理職の専門家、地域の方、社会福祉協議会、学校、行政などたくさんの方に支えていただき、続いてきました。

今では、訪問支援から居場所支援、さらには社会参画まで、切れ目なくサポートできる体制になっています。

団体のあゆみ

2020年9月～

大学生2人の企画からスタート

2021年3月～

ゆあぷれスタート

2022年9月～

われもこうスタート

2023年4月～

てらす食堂スタート

2023年9月～

ホームフレンド事業スタート

2023年10月～

法人格取得

and more...

2023年度のトピックス

Topics



01 拠点移動

われもこうは牟岐町の旧牟岐小学校へと引っ越しました。
町行政の皆さまご協力により、体育館や運動場、調理室などを利用し、多様な活動に取り組んでいます。
引っ越しに際し、たくさんの方から物品のご寄付もいただきました。
地域の交流、育ちの拠点として機能していければと思います。
※2024年7月より、**ゆあぷれの活動**もこちらで実施いたします。

02 『一般社団法人うみのこてらす』になりました。

10月に任意団体から**非営利型の一般社団法人**となりました。
・事業を充実・拡大し、こどもたちのためにという**思い**
・支援のインフラとしてあり続けるんだという**覚悟**
初心を忘れず、邁進していきたいと思います。



03 てらす食堂の開始

2023年6月、牟岐町社会福祉協議会と地域の皆様の協力で
牟岐で初めてのこども食堂**「てらす食堂」**をスタートしました。
「みんなで美味しく、楽しく！」をモットーに
笑顔あふれる食堂として活動していきます。



04 ゆあぷれ夏の学習支援 大学生ボランティア参加

中高生の居場所**「ゆあぷれ」**で夏休みの個別の学習プログラムを実施しました。
「分かるところまで絶対にとことん一緒に考える」のもとで始まった学習支援にたくさんの鳴門教育大学のみなさんがボランティアとして参加してくれました。
豊かな出会いのもと、**みんなで学ぶ夏**となりました。



05 われもこう文化祭 &卒業生輩出

「青春を取り戻そう」という思いから実現した**”われもこう文化祭”**
たくさんの方にご来場いただきました。

また3月にはたくましく成長し、**新たな門出**を迎えるこどもたちを
送り出しました。**われもこうでの想い出**や**居場所の存在**を胸に、
新たなステージで輝くみんなを**応援**しています。



06 様々な協議会や研修会への参加

徳島県不登校連携協議会や、**こどもの居場所に関する県内の協議会、こども家庭庁様主催の研修会**、様々な団体が運営される研修会などに
団体として参加させていただきました。
学ぶ機会を大切にすることで、こどもたちや支援の課題を明確にし、
行動に移していきたいです。

各機関とのネットワーク作り

必要としているこどもや家庭と早期に繋がる。
そして、成長段階に合わせ必要サポートを届ける。
そのために、私たちは様々な関係機関の皆様と繋がり、
ともに取り組む体制を大切にしています。

・学校や行政との連携

顔の見える関係性を大切にしながら、児童生徒が在籍する小中学校に訪問し、
支援方針の相談などを行っています。また、毎月団体の活動をお知らせする
「てらす通信」を作成するなど、活動報告にも力をいれました。
15校の学校で出席扱いと認定していただきました。

2023年度連携学校数：15校

・他団体との連携

他のこども食堂や、学童、教育相談員、ハローワークなど、
他団体の方との情報共有や支援連携も行いました。

・情報発信の機会

毎月学校へ活動報告を送付し、実態共有に取り組んでいます。
また団体の活動をお知らせする**「てらす通信」**を毎月発行しています。





てらす通信

こどもたちの嬉しいエピソード

Episode01
はじめての卒業生！

自分らしい未来の選択に向かって、さまざまな人の支えのもと高校進学や就職でこどもたちが自ら歩み出しました。その過程で、居場所の先輩に中３生徒が進路相談するなど、異年齢の集団だからこその関わりがありました。



Episode02
いろいろな人生「初」



「これからはどこにおってもご飯が炊けるな。生きていけそう」

『初米炊き』

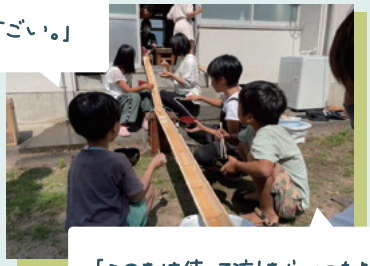
小学生男子が人生で初めての米洗いや米炊きに挑戦。

炊飯スイッチを押して一言

「流しそうめんて、こんなに大変だったんだ。すごい。」

『初流しそうめん』

自分たちで竹を準備し、削って、試して、やってみたらわかる面白さや苦労の先の達成感。
初めての流しそうめんは努力の味を教えてくれました。



「このたけ使って流したらいつもより美味しいわ。」

Episode03
「やってみたい！」に挑戦する！

『てらす食堂でこどもたちがボランティア』

ボランティアに興味があったり、知り合いの居る安心な人間関係の中で料理をやってみたかったりしたこどもたちがてらす食堂にボランティア参加してくれています。運営から赤ちゃんのお世話などさまざまな挑戦を、地域のてらすボランティアさんたちが全面サポートし、「やってみたい」が叶いました。

『機会は人を成長させる。青春をつかむ文化祭』

「自分たちが経験できなかった文化祭を自分たちのペースで やってみたい」

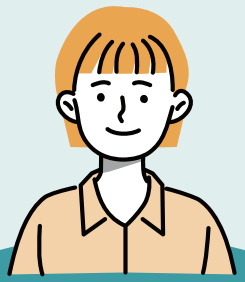
通信高校に通うこの子の思いは、たくさんのこどもたちの思いの代弁でもありました。

仲間たちと共に準備を進め、地域や保護者、たくさんの方々が共に喜び、楽しんでもらえるステキな文化祭をつくりあげました。準備や話し合いを通じて、こどもたちは「できなさそう」なことを成し遂げる力強い姿に心動かされました。

Messege

地域サポーターの方からのコメント

てらす食堂で嬉しかったこと



一緒に調理をする中で、生活の知恵などを教えていただくなど、他のボランティアの方と楽しく交流しながらボランティアに参加できたこと。

私と一緒に遊んだ子どもたちが、笑顔になったこと

普段関わることのない年代の人と知り合えたこと

毎回、美味しかったの一言がやはり嬉しい。年代問わず関わりがあり、お姉様方の料理のコツなども聞けて楽しいです。

てらす食堂に行くと、子どもを見かけることができます。子どもは生きる力があり、かつて自分が子育てをした頃のエネルギーをくれるのです！

子ども達の寄る場所が増えた。

色々とハプニングあったけど、皆んなその時力を合わせて、素晴らしいチームワークで何とか解決させる皆さんの力♡

初めは少なかった来客者がだんだん増えてきたこと。

ボランティアを一言で言うと？



交流や出会いにあえる場であること。

無理なく参加できて、充実感も得られる！

ボランティアチームの方とも、街の方とも仲良くなれること！

子どもが遊ぶ場所であったり親が休憩できたり高齢者も若い世代と交流出来る場所。

色んな事を教わり、来てくれる人達が『美味しいかった』、『楽しかった』、『ありがとう』と言われ、来てくれた人達を見てると平和を感じる，素敵な時間。

老若の幅広い方々との関わり。

交流の場

自分が少しでもお役に立てているかな?と思うこと。

その他にもいつもあたたかいメッセージをいただいております。

Thank you!

その他・メディア等掲載

2023/05/29

徳島新聞
子ども食堂　牟岐で初めて 6月4日オープン
任意団体・うみのこてらす　毎月第１日日曜に開設

2023/10/03

NHK徳島
徳島 牟岐町の子ども支援団体などに助成金

2023/10/12

徳島新聞
【地域を創る四国を拓く】うみのこてらす(牟岐町)　不登校児童を支える

2023/11/21

NHK徳島/おはよう日本
「不登校支援の格差をなくしたい」徳島出身 大学生の取り組みとは

サポーターズ（寄付・協賛企業）

日頃よりご支援をいただいている皆様に厚く御礼申し上げます。
こどもたちに無償で学びをとどけるために、個人の寄付者様に加えて、企業の皆様にもご支援をいただいております。一部ですがご紹介いたします。
今後もみなさまとともに、こどもたちの学びを届けて行きたいと思います。

ご寄付

・バリュークリエーション株式会社様

ご協力

・株式会社オオキタ様：お弁当の低額提供
・株式会社きもとや様：誕生日ケーキの提供
・有限会社宝来堂様：お菓子やパンの提供



バリュークリエーション株式会社様

Thank you so much

一般社団法人うみのこてらす 2023年度決算書・収支報告

＊法人化が2023年10月17日になっているため一期目決算は10月-翌年3月までの期間となっております。

＊ボランティアでの活動が中心で、支出の多くは消耗品や材料費が主な出費となりました。

科目		金額	
Ⅰ 経常収益			
1．助成金収益		1,870,000	
1．寄付金収益		5,381,729	
1．その他収益		90,479	
経常収益計			7,342,208
Ⅱ 経常費用			
1．事業費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	52,875		
人件費計	**52,875**		
(2)その他経費			
広告宣伝費	192,895		
旅費交通費	71,235		
交際費	1,296		
通信運搬費	11,690		
租税公課	1		
消耗品費	175,057		
保険料	10,324		
新聞図書費	24,491		
燃料費	6,840		
食糧費	20,305		
研修費	49,000		
備品費	69,308		
謝金	163,644		
印刷製本費	26,492		
原材料費	325,165		
使用料	15,000		
活動費	2,000		
その他経費計	**1,164,743**		
事業費計		1,217,618	
2．管理費			
(1)人件費			
人件費計	**52,875**		
(1)その他経費			
旅費交通費	41,080		
交際費	13,200		
支払手数料	1,430		
通信運搬費	79,098		
租税公課	1,650		
消耗品費	29,153		
保険料	5,000		
燃料費	6,839		
雑費	0		
その他経費計	**177,450**		
管理費計		177,450	
経常費用計			1,395,068
当期正味財産増減額			5,947,140
前期正味財産増減額			0
次期正味財産増減額			5,918,040

助成金収入

行政からではなく、民間の企業様や財団様等からの助成金になります。

寄付金

個人の方のご寄付や、今回大口のご寄付をいただいたため、金額が大きくなっています。現在は単発のご寄付がメインとなっておりますが、今後安定的に活動を届けるために継続寄付という形での仲間集めにも力をいれていきます。

広告宣伝費

ロゴ、パンフレット、HP、ちらしなどを制作するために使用しました。

旅費交通費

ボランティアやスタッフの方への交通費に使用しました。

消耗品費

こどもたちの活動で使用する文具や物品購入、事務消耗品費に使用しました。

謝金

活動講師やアドバイザー等への謝金。

原材料費

ご飯作りやお菓子作りなどにかかる原材料費。

次期繰越正味財産額

約591万円を繰り越しました。23年度は24年分のお金を集める動きをおこなったため、支出に対して繰越金が大きな金額となっています。24年度は事業安定・拡大のため初めて人件費を支払うため、1000万円を超えていく見込みです。皆様のご支援に感謝し、活動を継続できるように頑張ります。

お問い合わせ

お問い合わせ

ご見学や取材等、団体へのお問い合わせはこちらから

uminokoterasu@gmail.com　　公式LINE　@274slkok

活動のフォロー

うみのこてらす団体HP　　公式LINE　　各種SNSまとめ（Instagram・Facebook）

うみのこてらすへのご支援について

うみのこてらすの活動は、みなさまからのご寄付をはじめ、様々なご支援で成り立っています。
行政や民間企業もなかなか手が届きにくいこどもたちの支援を一緒につくっていきませんか。

個人のみなさまへ

ご寄付

毎月1,000円からの応援サポーター様を募集しています。
いただいたご寄付は、こどもたちの活動費や拠点の備品等購入、スタッフ人件費・交通費などに活用させていただきます。

毎月1,000円でできること
1人のこどもに
1時間分の勉強を
教えることができます。

毎月3,000円でできること
1人のこどもが
1日無料で居場所に
通えるようになります。

【寄付フォーム】

・オンライン
・クレジットカード払いに対応

【銀行振込】

阿波銀行（0172）
牟岐支店（215）
普通　1089134
シャ）ウミノコテラス

ご寄付はこちら

ボランティア

一緒に活動してくださるボランティアを募集しています。子どもと関わることが好きな大学生・社会人・地域の方、一緒にこどもの成長を見守っていきませんか？
お好きなペースでご参加いただけます。

食材・物資の提供

こども食堂や居場所で使用する食材や物資を募集しています。
ex）お米、調味料、お野菜、飲み物 など

法人のみなさまへ

うみのこてらすへのご寄付は、損金算入が可能です。
メールでのお問い合わせ、直接やり取り等お問い合わせください。

なぜご寄付なのか…

まだまだ障害者分野のように制度事業ではなく、さらに若い団体の私たちの支援活動では、行政からの補助なく運営しています。民間財団の助成金もありますが、用途に縛りがある場合もあります。
ご寄付だからこそ、自由にこどもたちやスタッフに本当によい環境を届けることができます。